

柏崎刈羽原子力発電所 7号機 プラント全体の機能試験における  
電動機駆動原子炉給水ポンプの給水流量調整弁の開度表示の不適合について

平成 21 年 5 月 15 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所 7号機は、平成 19 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震の影響により停止しておりましたが、平成 21 年 5 月 8 日よりプラント全体の機能試験を開始し、その後、計画的に試験を進めております。

本日、主タービンを起動した後に、発電機の仮並列による発電開始の準備を進めていたところ、午後 5 時 27 分頃、「計算機検出器故障」の警報が発生し、その後、運転中の電動機駆動原子炉給水ポンプ（B）の給水流量調節弁の状態が正しく表示されなくなり、現場の弁の開度と異なっていることが確認されました。

給水流量調節弁の開度表示器は、給水制御には使用しておらず、原子炉は安定した状態ですが、确实を期すため、今後、当該原子炉給水ポンプ（B）の給水流量調節弁の開度表示器を点検・修理・調整することとし、原子炉を未臨界状態\*にいたします。あわせて、もう 1 台ある電動機駆動原子炉給水ポンプ（A）の給水流量調節弁の開度表示器の点検も実施いたします。

なお、開度表示器の点検等を実施した後、再度原子炉の昇圧を行い、プラント全体の機能試験を再開いたします。

以 上

\* 未臨界状態

核分裂の連鎖反応が持続しない状態。